

F A X 送付案内

平成28年1月18日

A4 3枚 (本状含む)

関係各位



鹿児島県農政部畜産課 家畜衛生係
担当者：濱崎

鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3226 FAX:099-286-5599
eikan@pref.kagoshima.lg.jp

米国における高病原性鳥インフルエンザの発生について

平素よりお世話になっております。
米国インディアナ州における高病原性鳥インフルエンザの発生について、農林水産省より情報提供がありましたのでお知らせします。

【概要】

発生日：2016年1月16日
血清型：H7N8亜型（高病原性）
発生状況：七面鳥を飼養する農場
その他詳細は不明。

なお、本発生を受け、インディアナ州から我が国への生きた家きん、家きん肉等の輸入は停止となりました。

鳥インフルエンザに関する情報（農林水産省HP）
<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

このように、本病の発生については、世界各地で報告されており、依然として、国内への侵入リスクは高い状況にあることから、引き続き、緊張感を持って、本病侵入防止対策に万全を期していただきますよう、よろしくお願い致します。

本病侵入防止対策

野鳥、ネズミ等の侵入防止対策、消毒の徹底（車、人）をはじめとした飼養衛生管理基準の遵守の徹底と、特に下記事項について日頃から確認いただき、小さな不備でも修繕・整備など早急に実施していただくよう、また、異常を認めた際の早期発見早期通報の徹底についてもご指導いただくようお願い致します。

記

- 1 鶏舎の穴をふさぐ（野生動物・ネズミ等の侵入防止）
- 2 防鳥ネットの補修（隙間のないように）
- 3 飲み水対策（水道水でない場合は消毒実施）
- 4 鶏舎専用の長靴、衣服の着用（鶏舎にウイルスを持ち込まない）
- 5 消毒の実施（鶏舎毎の踏込消毒槽、車両消毒、手指の消毒、鶏舎周囲への石灰の散布）

米国インディアナ州からの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置について

農林水産省は、平成 28 年 1 月 16 日（土曜日）、アメリカ合衆国（以下「米国」という。）インディアナ州からの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置を講じました。

経緯

米国インディアナ州の七面鳥農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H7N8 亜型）の発生が確認された旨、平成 28 年 1 月 16 日（土曜日）、同国政府から通報がありました。

対応

米国政府からの通報を受けて、本病の我が国への侵入防止に万全を期するため、平成 28 年 1 月 16 日（土曜日）、同国インディアナ州からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を停止しました。

※ 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等の輸入を停止するのは、生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

（参考）米国（全土）からの生きた家きん、家きん肉等の輸入実績

	2012 年	2013 年	2014 年
生きた家きんのひな（羽）	152,600	61,401	34,832
家きん肉等（トン）	30,386	23,768	27,026
家きんの卵（トン）	11,003	11,505	11,235

出典：財務省「貿易統計」

※ 米国農務省（USDA）発表の統計によれば、インディアナ州におけるブロイラー生産量が米国全体の生産量に占めるシェアは約 6.4%以下、卵については約 7.8%（2014 年）。

家きんの高病原性・低病原性鳥インフルエンザの発生状況(2014年以降)

2016年1月15日現在

【西アジア】

イラク	(低)	2014.1-10,12月
イスラエル	H5N1(高)	2015.1.14
		2015.5.8
パレスチナ自治区	H5N1(高)	2015.1.17
		2015.3.22
	H5(高)	2015.3.24
		2015.4.12
	(低)	2014.2,5,9月
トルコ	H5N1(高)	2015.4.23

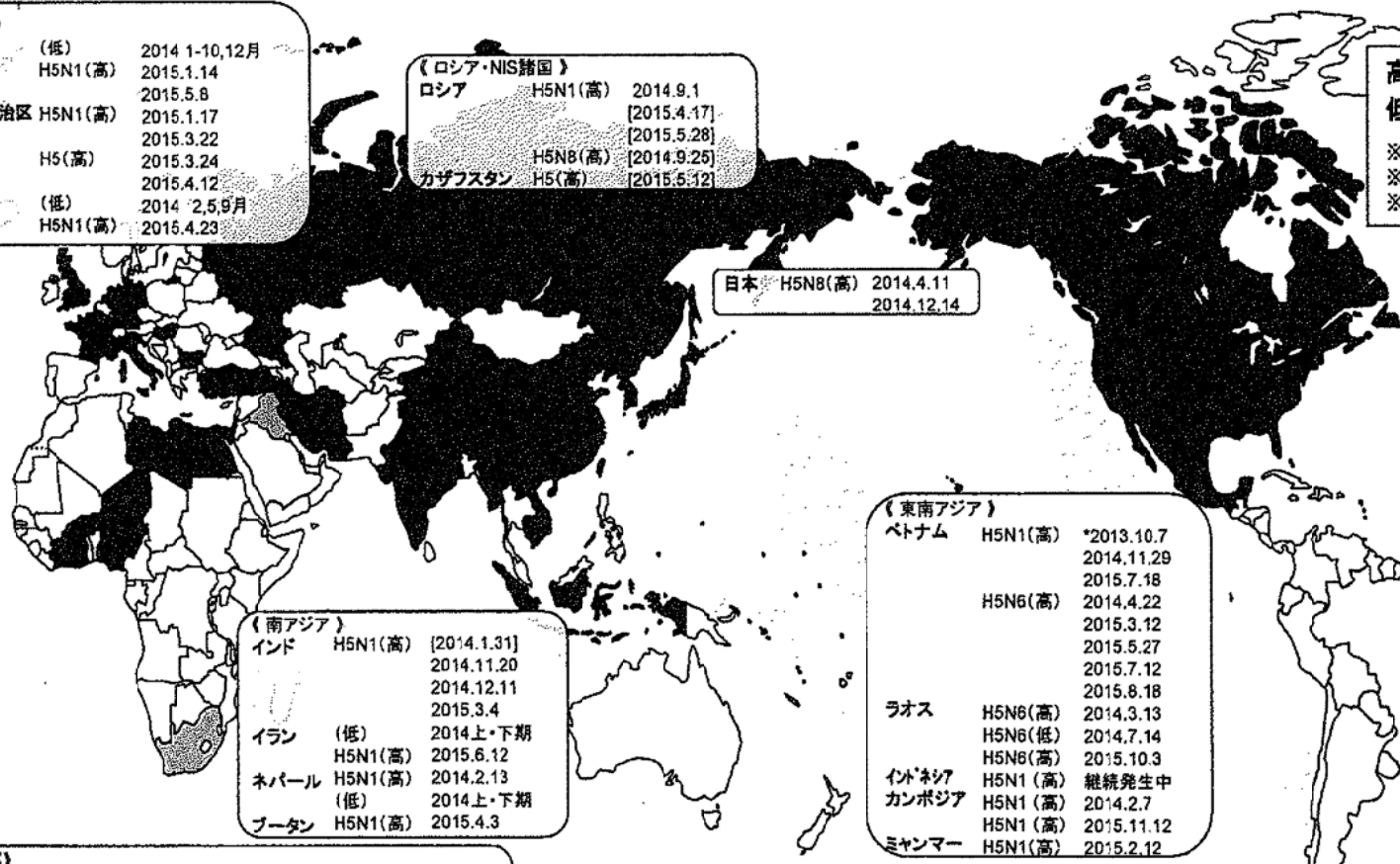
【ロシア・NIS諸国】

ロシア	H5N1(高)	2014.9.1
		[2015.4.17]
		[2015.5.28]
	H5N8(高)	[2014.9.25]
カザフスタン	H5(高)	[2015.5.12]

日本 H5N8(高) 2014.4.11
2014.12.14

高病原性発生地域= ■
低病原性発生地域= ■

※1 地図上の配色は家きんについて
※2 ()は病原性
※3 高病原性・低病原性併発地域は高病原性と表記



【南アジア】

インド	H5N1(高)	[2014.1.31]
		2014.11.20
		2014.12.11
		2015.3.4
イラン	(低)	2014上・下期
	H5N1(高)	2015.6.12
ネパール	H5N1(高)	2014.2.13
	(低)	2014上・下期
ブータン	H5N1(高)	2015.4.3

【東南アジア】

ベトナム	H5N1(高)	*2013.10.7
		2014.11.29
		2015.7.18
	H5N6(高)	2014.4.22
		2015.3.12
		2015.5.27
		2015.7.12
		2015.8.18
ラオス	H5N6(高)	2014.3.13
	H5N6(低)	2014.7.14
	H5N6(高)	2015.10.3
インドネシア	H5N1(高)	継続発生中
カンボジア	H5N1(高)	2014.2.7
	H5N1(高)	2015.11.12
ミャンマー	H5N1(高)	2015.2.12

【南北アメリカ】

米国

ワシントン州	H5N2(高)	2014.12.24
	H5N8(高)	[2014.12.10]
	H5N1(高)	[2014.12.29]
オレゴン州	H5N2(高)	2015.2.9
	H5N8(高)	2014.12.16
アイダホ州	H5N2(高)	2015.1.7
	H5N8(高)	[2015.1.16]
ユタ州	H5N8(高)	[2015.1.9]
カリフォルニア州	H5N8(高)	2015.1.19
	H5N8(低)	2014.4.14
	H7N3(低)	2015.3.9
ネバダ州	H5N8(高)	[2015.1.30]
ミネソタ州	H5N2(高)	2015.2.26
ミズーリ州	H5N2(高)	2015.3.4
アーカンソー州	H5N2(高)	2015.3.8
カンザス州	H5N2(高)	2015.3.5
ワイオミング州	H5N2(高)	[2015.3.25]
サウスダコタ州	H5N2(高)	2015.3.30
モンタナ州	H5N2(高)	2015.3.23
ノースダコタ州	H5N2(高)	2015.4.8
ウィスコンシン州	H5N2(高)	2015.4.8
アイオワ州	H5N2(高)	2015.4.12
ケンタッキー州	H5N2(高)	[2015.3.10]
インディアナ州	H5N8(高)	2015.5.8
	H7N8(高)	2016.1.14
ネブラスカ州	H5N2(高)	2015.5.10
ミシガン州	H5N2(高)	[2015.6.8]
	H5N2(低)	2015.10.1
ニュージャージー州	H5(低)	2014.2.11
	H5N1(低)	2015.1.20
	H7N3(低)	2014.8.19
デラウェア州	H7(低)	2014.4.2
ペンシルバニア州	H7N7(低)	2015.9.15
カナダ		
ブリティッシュコロンビア州	H5N1(高)	2015.2.2
	H5N2(高)	2014.11.30
オンタリオ州	H5N2(高)	2015.4.3
メキシコ	H7N3(高)	2014.7.11,12月
		2015.3.9
		[2015.4.28]
	H7N3(低)	2014.2.13
	H5N2(低)	2015.7.24
ベリーズ	H5N2(低)	2014.12.3
ハイチ共和国	(低)	2014上・下期

【ヨーロッパ】

イタリア	H5N8(高)	2014.12.15	ドイツ	H5N8(高)	2014.11.4
	H5(低)	2014上期		H7N7(高)	2015.7.24
	H5N2(低)	2014下期		H5N1(低)	2014.3.9
	H7(低)	2014上期		H5N2(低)	2014.10.7
	H7N1(低)	2014上・下期			2015.12.4
オランダ	H5N8(高)	2014.11.14		H7N7(低)	2015.2.27
	H5N1(低)	2014.2.25			2015.6.9
	H5N2(低)	2014.3.12	英国	H5N8(高)	2014.11.14
		2015.4.1		H7N7(高)	2015.7.6
	H7N7(低)	2015.3.11		H7N7(低)	2015.1.29
	H7(低)	2015.3.25		H5N1(低)	2016.1.8
	(低)	2014下期	ブルガリア	H5N1(高)	2015.1.30
フランス	H5N1(高)	2015.11.14	ハンガリー	H5N8(高)	2015.2.23
	H5N2(高)	2015.11.27	スウェーデン	H5N8(高)	[2015.2.18]
	H5N2(低)	2015.11.18	ルーマニア	H5N1(高)	[2015.3.25]
	H5N3(低)	2015.12.5			
	H5N9(高)	2015.11.18			

【アフリカ】

エジプト	H5N1(高)	継続発生中
南アフリカ	H5N2(低)	2014.1.28
	H7N1(低)	2014.8.20
	H7N7(低)	2014.1.31
	H7(低)	2015.6.25
リビア	H5N1(高)	2014.3.4
		2015.2.1
ナイジェリア	H5N1(高)	2014.12.24
		2015.1.2
ブルキナファソ	H5N1(高)	2015.2.10
ニジェール	H5N1(高)	2015.4.2
コートジボワール	H5N1(高)	2015.4.9
ガーナ	H5(高)	2015.4.13

【東アジア】

中国	H5N1(高)	*2013.12.27	台湾	H5N2(高)	2014.4.15
		2014.8.12			2015.1.6
		[2015.2.4 虎]			2015.1.7
	H5N2(高)	*2013.12.21		H5N3(高)	2015.1.11
	H5N3(高)	2014.9.12		H5N8(高)	2015.1.8
	H5N6(高)	2014.4.23		H5(低)	2014.12.17
		2014.8.23		H5N2(低)	2014.4.21
	H5N8(高)	2014.9.12			2015.1.12
	H7N9(低)	*2013.4.4	韓国	H5N8(高)	2014.1.16
香港	H5N6(高)	[2015.4.10]			2014.9.24
		[2015.4.29]	北朝鮮	H5N1(高)	2014.3.21
		[2015.11.17]			
		[2015.12.31]			
	H7N9(低)	2014.1.27			
		2014.12.30			

※1 更新点: 米国インディアナ州における高病原性鳥インフルエンザ(H7N8)の発生
 ※2 本図は発生の有無を示したもので、その後の清浄性確認については記載していない
 ※3 日付は発生日又は検体回収日に基づく
 ※4 *は初発が2013年以前であるが2014年以降も発生のあるものを示す
 ※5 []は野鳥における発生を示す
 出典: OIE WAHID 等